



## Recycler® キット

Groundsmaster® 3200 および 3300 シリーズのトラクションユニット60"  
または 72" 後方排出口ロータリーデッキを搭載したもの用

モデル番号 31977

モデル番号 31979

取り付け要領

1

### マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

#### 手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. 刈り込みデッキを移動走行位置まで上げるオペレーターズマニュアルを参照。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 刈り込みデッキを整備位置にセットするオペレーターズマニュアルを参照。



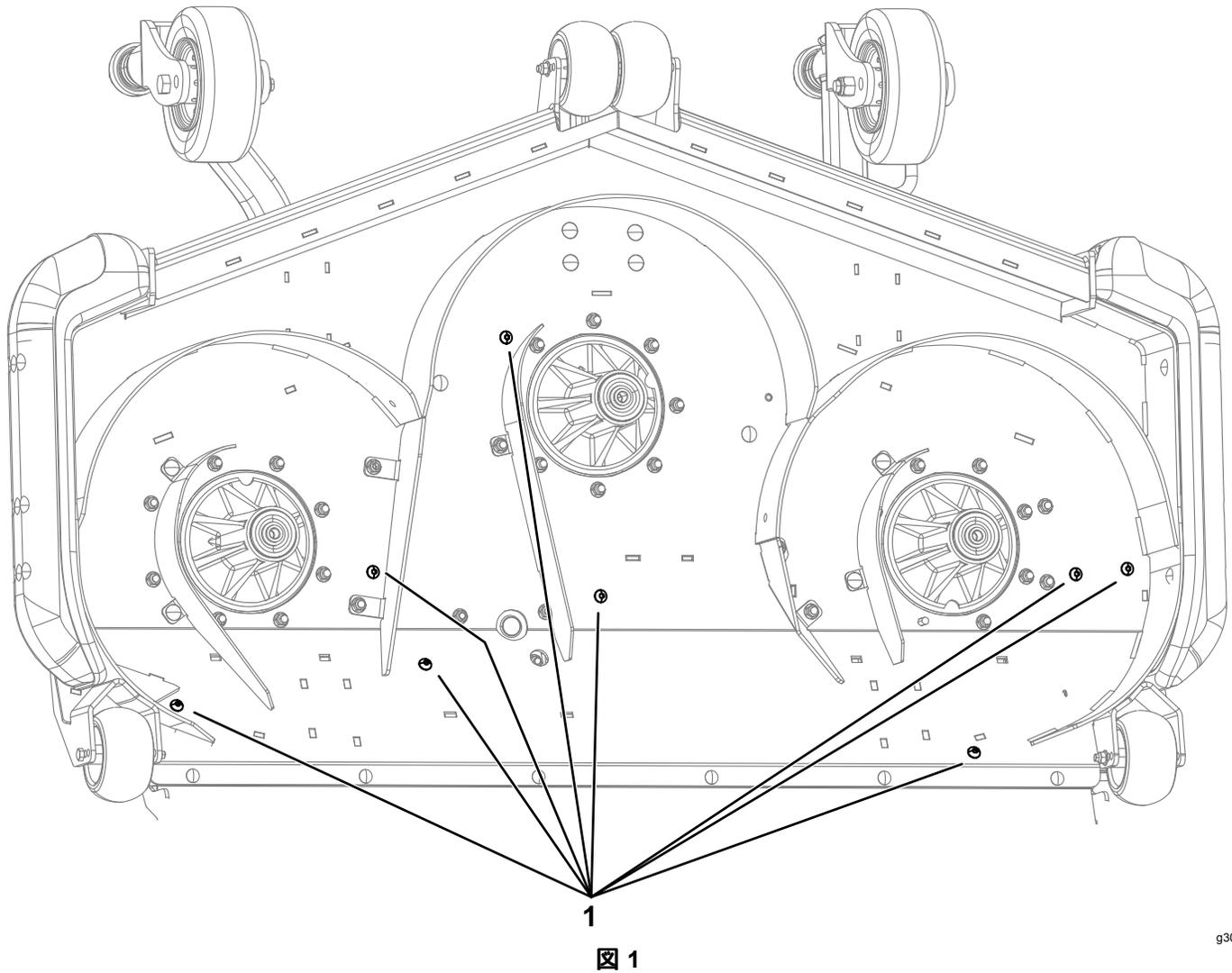
# 2

## プラグを取り外す

必要なパーツはありません。

### 手順

60" デッキ



g308834

1. プラグ

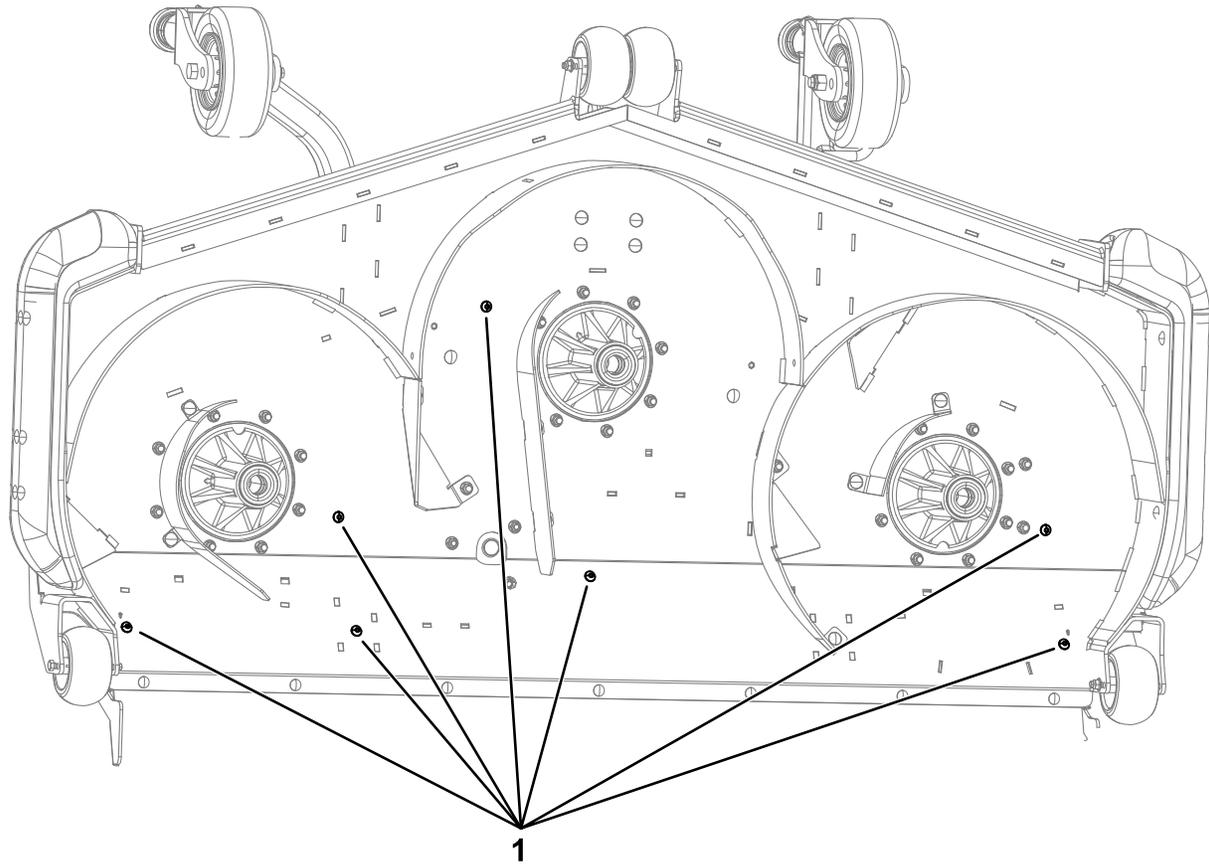


図 2

g308835

1. プラグ

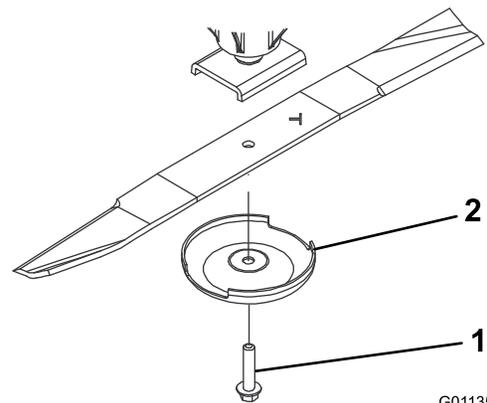
# 3

## ブレードの取り外し

必要なパーツはありません。

### 手順

1. ぼろきれや厚いパッドの入った手袋を使ってブレードの端部をしっかり握る。
  2. スピンドルのシャフトからブレードボルト、芝削り防止カップ、ブレードを取り外す 図 3。
- 外したボルトは再利用するので廃棄しないこと。



G011355

g011355

図 3

1. ブレードボルト

2. 芝削り防止キャップ

# 4

## デッキについているバッフルを取り外す

必要なパーツはありません。

### 60" 刈り込みデッキの場合

図4のように、刈り込みデッキから既存のバッフルと締結具を外します。

今後キットを取り外す可能性がある場合には、外したバッフルなどを保管してください。

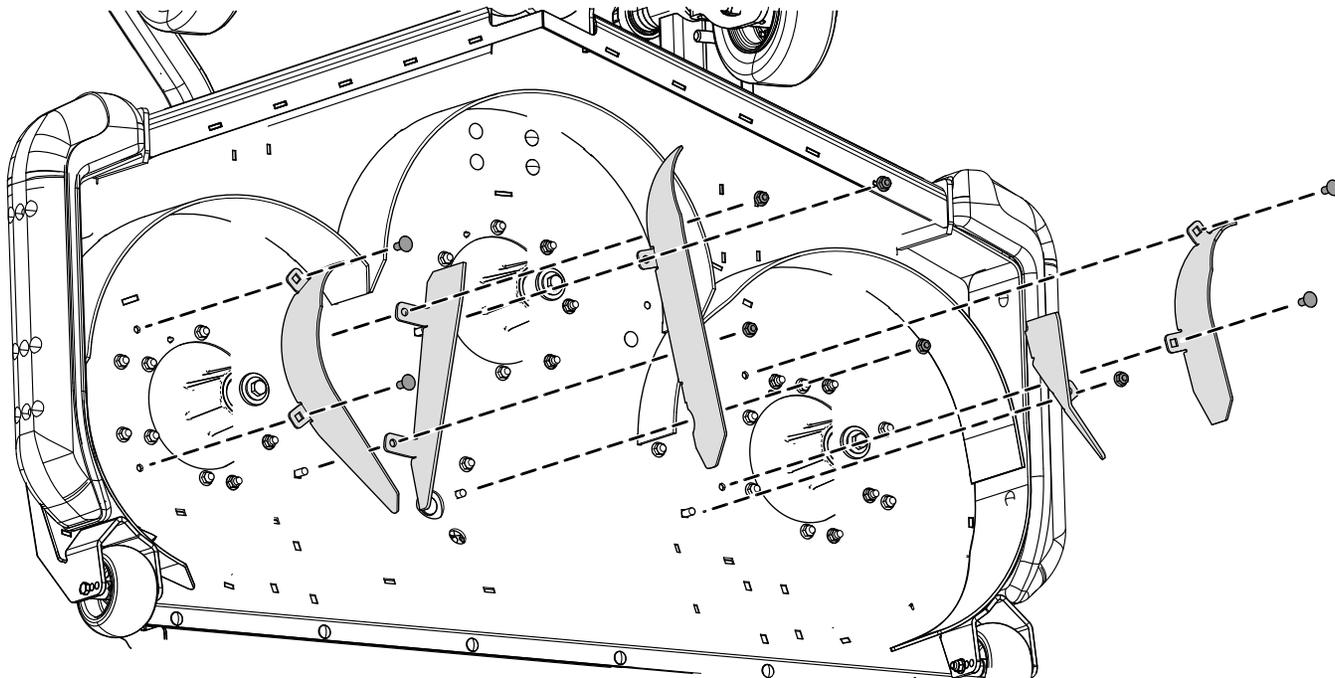


図4

g308832

## 72" 刈り込みデッキの場合

図5のように、刈り込みデッキから既存のバッフルと締結具を外します。

今後キットを取り外す可能性がある場合には、外したバッフルなどを保管してください。

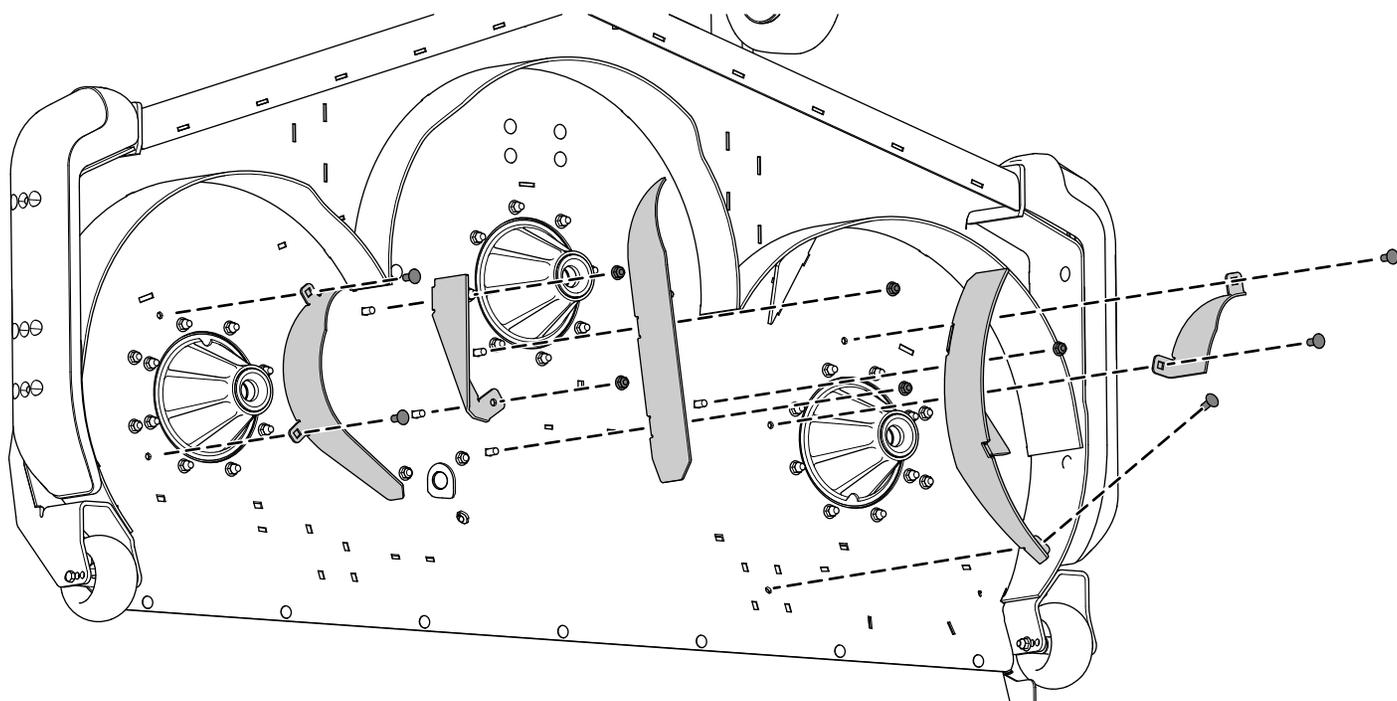


図5

g308833

# 5

## リサイクラ用バッフルを取り付ける

### この作業に必要なパーツ

|    |  |
|----|--|
| 1  | 右後バッフル                                   |
| 1  | 右中央バッフル                                  |
| 1  | 左後バッフル                                   |
| 2  | サイドキッカーバッフル                              |
| 1  | センターキッカーバッフル                             |
| 12 | ロックナット $\frac{3}{8}$ "                   |
| 12 | キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{1}{8}$ " |

## 60" 刈り込みデッキの場合

1. 右後バッフルを刈り込みデッキに仮止めするキャリッジボルト $3/8 \times 7/8$ "3本とロックナット $3/8$ "3個を使用して図 6 のように取り付ける。
2. 左後バッフルを刈り込みデッキに仮止めするキャリッジボルト $3/8 \times 7/8$ "3本とロックナット $3/8$ "3個を使用して図 6 のように取り付ける。
3. 中央後バッフルを刈り込みデッキに仮止めするキャリッジボルト $2/8 \times 7/8$ "3本とロックナット $2/8$ "3個を使用して図 6 のように取り付ける。
4. 中央後バッフルを右後バッフルに仮止めするキャリッジボルト $3/8 \times 7/8$ "1本とロックナット $3/8$ "3個を使用して図 6 のように取り付ける。
5. サイドキッカーバッフル2枚とセンターキッカーバッフルを仮止めするキャリッジボルト $3/8 \times 7/8$ "3本とロックナット $3/8$ "3個を使用して図 6 のように取り付ける。

**注** 各キッカーバッフルのフック側は、チェンバーバッフルのスロットにはめ込みます。

**注** フック側がうまく嵌らない場合は、相手方のバッフルを少しゆるめてください。

6. 手順 2 プラグを取り外す (ページ 2) で外した金具を使って穴をふさぐ。

四角い穴はキャリッジボルトでふさぐ。丸い穴はボタンヘッドボルトでふさぐ

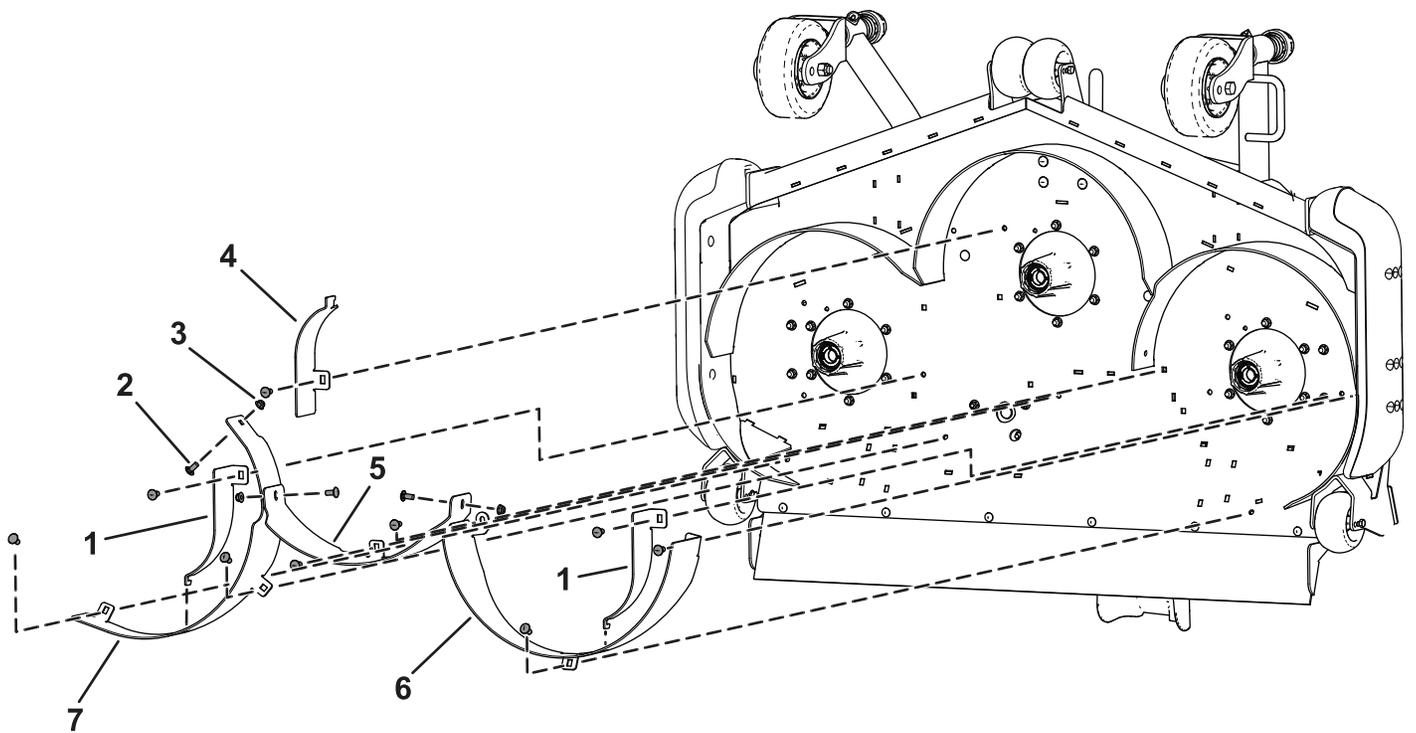


図 6

g306693

- |                                |            |
|--------------------------------|------------|
| 1. サイドキッカーバッフル                 | 5. 右中央バッフル |
| 2. キャリッジボルト $3/8 \times 7/8$ " | 6. 左後バッフル  |
| 3. ロックナット $3/8$ "              | 7. 右後バッフル  |
| 4. センターキッカーバッフル                |            |

## 72" 刈り込みデッキの場合

1. 右後バッフルを刈り込みデッキに仮止めするキャリッジボルト2/8 x 7/8"3本とロックナット2/8"3個を使用して図7のように取り付ける。
2. 左後バッフルを刈り込みデッキに仮止めするキャリッジボルト2/8 x 7/8"3本とロックナット2/8"3個を使用して図7のように取り付ける。
3. 中央後バッフルを刈り込みデッキに仮止めするキャリッジボルト3/8 x 7/8"3本とロックナット3/8"3個を使用して図7のように取り付ける。
4. 中央後バッフルを右後バッフルと左後バッフルに仮止めするキャリッジボルト3/8 x 7/8"2本とロックナット3/8"2個を使用して図7のように取り付ける。
5. サイドキッカーバッフル2枚とセンターキッカーバッフルを仮止めするキャリッジボルト3/8 x 7/8"3本とロックナット3/8"3個を使用して図7のように取り付ける。

**注** 各キッカーバッフルのフック側は、チェンバーバッフルのスロットにはめ込みます。

**注** フック側がうまく嵌らない場合は、相手方のバッフルを少しゆるめてください。

6. 手順2 プラグを取り外す (ページ2)で外した金具を使って穴をふさぐ。

四角い穴はキャリッジボルトでふさぐ。丸い穴はボタンヘッドボルトでふさぐ

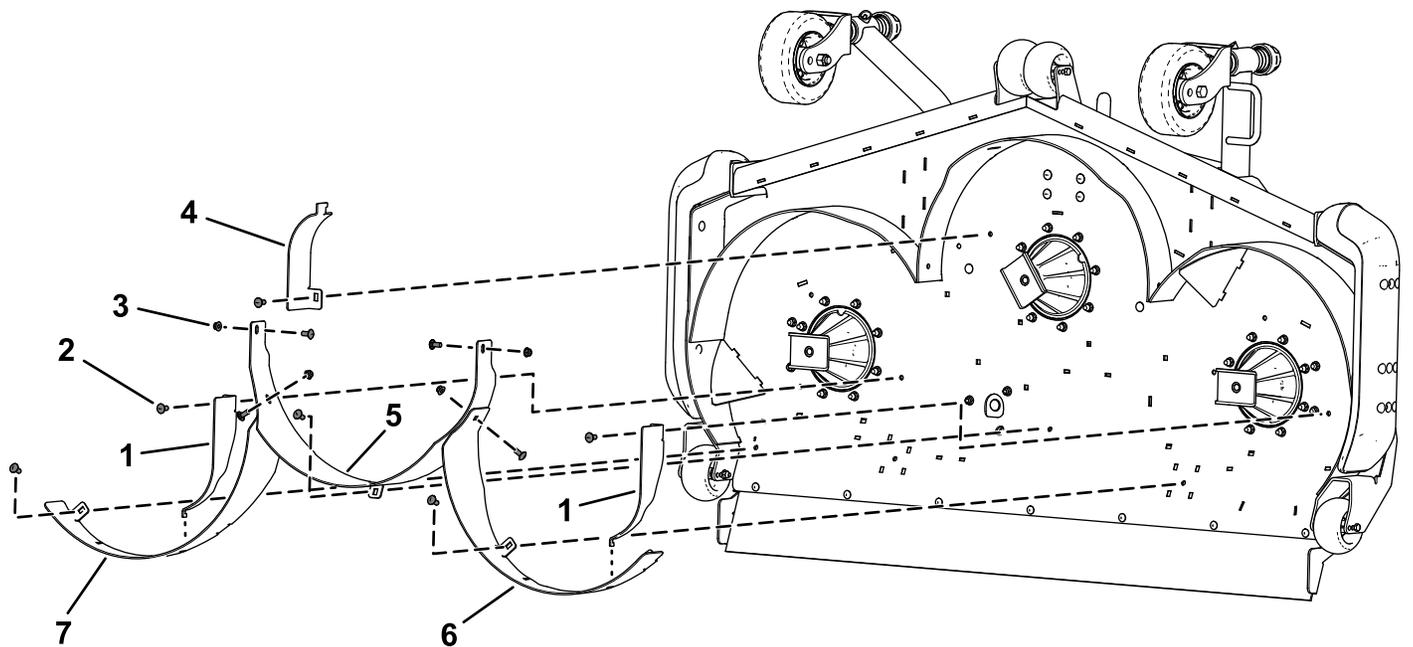


図7

g306198

- |   |            |
|---|------------|
| 1. サイドキッカーバッフル                              | 5. 右中央バッフル |
| 2. キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ " | 6. 左後バッフル  |
| 3. ロックナット $\frac{3}{8}$ "                   | 7. 右後バッフル  |
| 4. センターキッカーバッフル                             |            |

# 6

## ブレードの取り付け

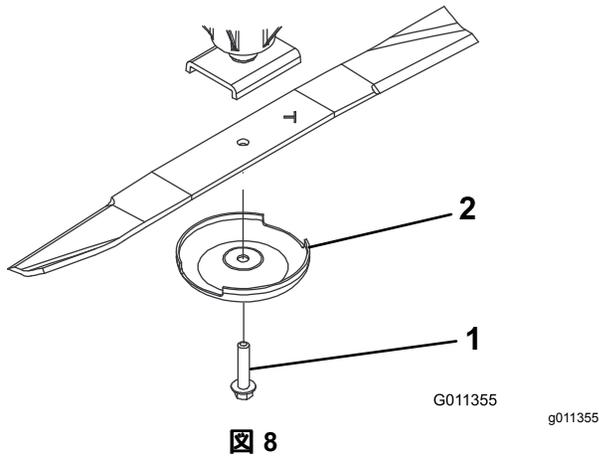
必要なパーツはありません。

### 手順

図8のようにブレード、芝削り防止カップ、ボルトを取り付けてボルトを115-149 N・m11.8-15.2 kg.m = 85-110 ft-lbにトルク締めする。

**重要**ブレードの立っている側セル部がデッキの天井を向くのが正しい取り付け方です。

**注** デッキが何かに衝突した場合には、全部のスピンドルプーリ・ナットを115-149 N・m11.8-15.2 kg.m = 85-150 ft-lbにトルク締めする。



1. ブレードボルト                      2. 芝削り防止キャップ

# 7

## ボルト・ナットの本締めを行う

必要なパーツはありません。

### 手順

1. バッフル固定用のすべてのボルトとナットを締めつける。
2. ブレードを手で回して、バッフルとブレードとの間に隙間があることを確認する。隙間がない場合は、バッフルをゆるめて隙間を作る。

# 8

## 組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

### 手順

刈り込みデッキを刈り込み位置にセットするオペレーターズマニュアルを参照。

# 9

## 後方排出へ戻す手順

必要なパーツはありません。

### 手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. 刈り込みデッキを移動走行位置まで上げるオペレーターズマニュアルを参照。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 刈り込みデッキを整備位置にセットするオペレーターズマニュアルを参照。
6. リサイクル用バッフルを取り外す。  
外した金具類は保管する。
7. リサイクル用のブレードを標準ブレードに交換する当てはまる場合。
8. 六角ソケットボルト3/8 x 3/4"とフランジナット3/8"をデッキ上部の穴に取り付けるボルトの頭を下にして取り付けること。

**注** ベルトシールドやフレームでふさがれていない穴はすべてふさぐ必要があります。穴があると砂や異物が飛び出して危険です。